

平成17年度 一般財源研究費傾斜的研究費(全学分)研究報告書

研究テーマ [③若手研究者奨励研究]

研究課題名	『西遊記』の図像学的研究 ―香港における受容を中心に―		
研究者または研究代表者名	所属部局名		職名
佐々木 睦	OU		助教授
研究実績の概要			
研究計画は以下の三点に集約される。			
① 寺廟における『西遊記』関連図像の調査 ② 『西遊記』関連寺廟における祭礼の調査 ③ 伝統芸能（地方劇・人形劇）資料・映画資料の収集			
これらを三度にわたる実地調査にて行った。概要は以下のごとし。			
第一期（2005年7月31日～8月11日） ――柴湾大聖廟（香港島東部）乙酉盂蘭勝会（8月5日～8月7日）を中心に、寺廟における『西遊記』図像調査を中心に調査を行った。 第二期（2005年9月15日～9月24日） ――秀茂坪齊天廟（九龍地区東部）齊天聖誕（9月19日）調査ならびに香港大学図書館・香港電影資料館において演劇・映像関連資料の調査を行った。 第三期（2006年1月28日～2月6日） ――第二期の『西遊記』関連寺廟調査の補足調査、ならびに香港電影資料館、香港大学において『西遊記』関連映画の調査を行った。			
これらの調査を通じ、①香港の道教寺院における齊天大聖信仰の担い手が潮州系の移民達であり、齊天大聖廟がその帰属意識の確認において中心的役割を果たしていることがわかった。また近年大聖廟における祭礼が、移民たちの土着化によって、若年層の参加の減少、規模の縮小化、近隣住民からの苦情という現象を起こしていることを確認した。			
②『西遊記』関連映画についての調査の結果、香港映画がその産業構造や物語の製作において、一見近代性に覆われ尽くされているかに見えながら、実は中国の伝統的大衆文化をきわめて堅固に踏襲していることを発見した。この研究成果の一部を「香港映画と『西遊記』 ――五、六十年代通俗娯楽映画を中心に」（2006年3月、東京都立大学中国文学研究室編『人文学報』374号、1-37頁）として発表した。また学部・大学院の授業でも随時最新成果に触れ、またオープンユニバーシティにおける社会人講座においても関連講座を開いている。			

研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]			
著者（講演者）	論文題目（発表題目）	発表誌（発表大会名）	年月
佐々木 睦	香港映画と『西遊記』 ——五六十年代通俗娯楽映画を中心に	『人文学報』374号	2006年3月
佐々木 睦	『醒世恒言』 「張廷秀逃生救父」考	中国古典小説研究会 （於：早稲田大学）	2005年12月